

分野：②

「外来生物とは？」

環境アドバイザー

藍沢 司

対象 一般市民（25人）

所要時間



1時間45分

場所 川口市立小谷場中学校

実施時期

令和3年7月24日

概要

自然のもの、自然でないもの
生態系ピラミッド
外来植物の侵入とピラミッドのバランス
外来植物とはなにか。

プログラムの
ねらい

- 身の回りの生物を、従来日本で生活していたもの（自然のもの）と園芸種や品種改良されたもの（自然でないもの）にわけることができる。
- 植物を出発点として、食物連鎖のピラミッドをつくることができる。
- 外来植物の侵入により、ピラミッドがくずれることが予想できる。

プログラムの内容

1 自然の生き物とは（30分）

- 生物のカード（20枚）を用意。全体に見せたあと、2～3枚グループに配り、黒板に自然、自然でないと分けたところに貼りださせた。
- 答え合わせをしながら、園芸植物、品種改良された生物などを理解させた。

2 自然の風景とは（30分）

- 雑木林、植林された林、など6枚の写真を全体に見せて、自然の風景はどれか考えさせた。
- それぞれの風景の説明をした。
- 自然とは、従来の生物で補われたもの（例えば雑木林）でも良いと思われる。

3 生態系のバランス（30分）

- 生き物カードを各自つないで、食物ピラミッドをつくる。
- 用意した“紙コップのモデル”を使い、そこに外来植物の侵入の影響を考えさせる。
- 外来種が侵入により、生態系のバランスがくずれてしまう。

4 外来植物抜きについて（15分）

- 外来植物抜きについて、主な侵入している植物を説明する。
- 暑い、朝早い、など当日の外来植物抜きに関し、いつかの注意点の確認を行った。

受講者の反応

- 参加者は自然への関心が高く、熱心にレクチャーに参加した。1の生物のカードの貼りつけや、3の食物連鎖の作成など、家族や友人と議論しながら的確に作業してくれた。
- 中学生補助的に、生態系のバランスのくずれについて、紙コップのモデルを示してくれて、参加者のより深い理解につながった。

環境学習の様子（写真）



みなさん、自然って、何
でしょうか？

中学生がお手伝い、
「こうじゃないかな。」



そうすると
バランスが
くずれるんだね。

